

令和 6 年 9 月

小林市議会定例会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、台風10号によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

非常に強い勢力のまま本市に接近した台風10号につきましては、去る8月28日に災害対策本部を設置し、市内全域に避難指示を発令するとともに、市内15か所の避難所を開設するなど、最大限の警戒態勢でその対応に臨んだところであります。

本市では、激しい雨や暴風に見舞われ、市内の一部の地域において停電や断水が発生するとともに、道路への倒木などの被害が発生したところでありますが、幸い、この台風による人的な被害は発生しなかったところであります。

なお、現在、市内の詳細な被害状況について、調査を続けているところであります。

また、去る8月8日には、日向灘を震源とする最大震度6弱を観測した地震が発生し、本市におきましても、震度5弱を観測したところであります。

この地震に伴い、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を運用後初めて発表したことから、本市では、直ちに災害警戒本部を設置するとともに、市内6か所の避難所を開設するなど、市民の皆様の安心・安全の確保と情報の収集に努めたところであります。

本市では、この地震による人的な被害は発生しなかったところでありますが、今後、

いつ大規模地震が発生してもおかしくないことに留意し、市の公式LINE等を通じて、市民の皆様へ「日頃からの地震への備え」について改めて周知を行ったところであります。

今後におきましても、風水害、地震など、あらゆる災害に迅速に対応できるよう、引き続き地域防災計画を基本として、危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

それでは、現在の市政運営に係る主な取り組み等について、ご報告をさせていただきます。

まず、地域防災についてであります。

去る8月24日に開催された第40回

宮崎県消防操法大会のポンプ車操法の部において、小林市消防団第1分団第5部が優勝し、10月12日に宮城県で開催される第30回全国消防操法大会に本県代表として出場することになりました。

本市で初めてとなるこの快挙は、大きな喜びであり、出場する選手の全国大会での活躍とともに、小林市消防団の更なる飛躍に期待をしているところであります。

引き続き地域防災の要である消防団や自主防災組織の強化を図り、自助・共助・公助の連携による防災対策を推進してまいります。

次に、国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の推進についてであります。

去る7月17日に、令和9年の第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の本県での開催が、正式に決定したところであります。

本市では、現在建設中の健幸のまちづくり拠点施設や小野湖特設カヌー競技場のほか、小林市文化会館を会場に、様々な競技が実施される予定となっております。

両大会の開催を契機に、本市の多彩な魅力を発信するとともに、市民のスポーツへの関心を高めることで、「健幸のまちづくり」の実現や地域の活性化につなげる大会となることを目指して、引き続き、市民、関係団体、企業、行政の協働による「オール小林」で準備を進めてまいります。

次に、熱中症対策についてであります。

地球温暖化の影響を受け、今年の夏は、本市におきましても、連日、猛暑日や熱帯夜が続いたところであります。

本市では、今年度、熱中症による人の健康に係る被害の発生を防止するため、市の施設の一部を「クーリングシェルター」に指定したところであり、極端な高温が発生した場合における暑さをしのぐ場所として、市民の皆様を活用いただきたいと考えているところであります。

今後におきましても、国が策定した「熱中症対策実行計画」に基づき、本市における熱中症対策を推進していくとともに、

地球温暖化を防止するため、引き続き「ゼロカーボンシティこばやし」を目指した取り組みを進めてまいります。

次に、シティプロモーションの取り組みについてであります。

現在、「ハッシンコバヤシ！！」と銘打った本市のプロモーション活動の一環といたしまして、宮崎観光ホテルにおいて「こばやしフェア」を開催しているところであります。

去る8月3日には、同イベントにおいて、小林産宮崎牛の振る舞いを行うとともに、「真夏の激アツこばやしマルシェ」を開催し、本市の事業者や農畜産物消費拡大推進協議会による特産品や加工品の販売を行ったところ、同日に「みやざき納涼花火大会」の開催も

あり、多くのお客様にご来場いただいたところでもあります。

引き続き、市内外の事業者等と連携しながら、更なる本市のファン獲得や関係人口の増加に向けた取り組みを推進してまいります。

次に、姉妹都市との交流についてであります。

去る8月19日から21日にかけて、姉妹都市交流事業として、市内の中学生15名が、石川県能登町を訪問いたしました。

今回の交流事業では、参加した市内の中学生が能登町の中学生と交流を深めたことはもとより、令和6年能登半島地震について、被災地の復旧・復興に向けた支援や

防災の重要性を実感するなど、貴重な経験を得ることができたものと考えているところであります。

なお、本市から被災地である能登町に対し、現在、2名の土木技術職の職員を派遣しているところですが、広範囲にわたって被災した道路や河川などの復旧には、まだ時間を要すると報告を受けたところであります。

先月には、道の駅ゆ〜ぱるのじりにおいて、「能登応援フェア」を開催し、市内外から多くのお客様にご来場いただいたところですが、引き続き姉妹都市である能登町と交流を深めていきながら、災害からの復旧・復興に向けて、できる限りの支援を続けてまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

議案第59号から議案第68号まで、以上10件につきましては、令和5年度小林市一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、議会の認定に付するものであります。

令和5年度各会計の決算につきましては、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計を除き、黒字又は収支均衡での決算となりました。

以下、主なものにつきまして、概要を申し上げます。

議案第59号令和5年度小林市一般会計

歳入歳出決算の認定につきましては、
歳入総額 3 2 8 億 3, 8 4 6 万 8, 3 5 7 円、
歳出総額 3 2 2 億 2 8 5 万 4, 1 0 0 円
となりました。

歳入歳出差引額は
6 億 3, 5 6 1 万 4, 2 5 7 円で、
翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた
実質収支額は
2 億 6, 3 7 9 万 6 3 3 円となりました。

前年度と比較いたしますと、
歳入歳出差引額は約 3 億 2, 3 0 0 万円の減
となり、
翌年度へ繰り越すべき財源が
約 2 億 2, 7 0 0 万円の減となりましたので、
実質収支額は
約 9, 6 0 0 万円の減となったところでござ

います。

歳出の主なものとしたしましては、ハード事業として、健幸のまちづくり拠点施設整備事業費約10億円、社会資本整備総合交付金事業費約6億円を支出し、ソフト事業として、物価高騰対策に係る事業費に約6億円を支出するなど、「第2次小林市総合計画」の将来都市像の実現に向けた各種施策を推進してまいりました。

歳入につきましては、前年度と比較いたしますと、繰越金が約1億3,000万円、

寄附金が約 4 億 3, 0 0 0 万円
それぞれ減額となった一方、
国庫支出金が約 8 億 2, 0 0 0 万円、
地方債が約 6 億 8, 0 0 0 万円
それぞれ増額となりました。

なお、市債残高は、約 2 5 9 億円で、
前年度と比較いたしますと約 1 0 億円の減と
なりました。

また、定額運用基金を除いた基金残高は、
約 7 6 億円となり、前年度と比較いたします
と約 5 億円の増となりました。

次に、財政指標でございますが、財政の
柔軟性を示す経常収支比率につきましては、
前年度と比較いたしますと 0. 2 ポイント
改善し、9 5. 7 パーセントとなりました。

この主な要因は、地方税の増によるものであります。

なお、健全化判断比率につきましては、
実質赤字比率、
連結実質赤字比率、
実質公債費比率、
将来負担比率
のいずれも健全性は維持されています。

今後、物価高騰や社会保障関係費の増加が見込まれるなど、厳しい財政運営が続くものと予測されますことから、
「行政の効率化に向けた取組」と
「重要課題への対応」を両立していくため、
引き続き行財政改革を着実に実行し、財政の健全化に努めてまいります。

議案第60号令和5年度小林市国民健康
保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につき
ましては、

歳入総額60億6,499万8,891円、
歳出総額60億1,528万1,122円
となり、

歳入歳出差引額は

4,971万7,769円となりました。

なお、歳出の大部分を占める保険給付費に
つきましては、前年度と比較いたしますと、
2億7,595万9,999円、
率にして6.2パーセントの減となりました。

今後も、特定健康診査の受診率の向上や、
保険税収納率の向上に向けた取り組みを更に
強化し、国民健康保険事業の健全かつ安定的

な運営に努めてまいります。

議案第64号令和5年度小林市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、

歳入総額60億8,316万6,011円、

歳出総額59億759万2,900円

となり、

歳入歳出差引額は

1億7,557万3,111円となりました。

令和5年度は、前年度に引き続き、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、制度の円滑な運営に努めました。

また、地域包括支援センターを中心に関係機関が連携し、地域の高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう包括的な支援を

行いました。

議案第66号令和5年度小林市水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入8億6,290万8,471円、
収益的支出8億7,842万4,818円
となり、
当年度純損失は
1,551万6,347円、
当年度未処理欠損金は
3億32万6,390円となりました。

議案第67号令和5年度小林市下水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入5億948万4,723円、
収益的支出5億1,098万4,449円
となり、
当年度純損失は

149万9,726円、
当年度未処分利益剰余金は
555万105円となりました。

議案第68号令和5年度小林市病院事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入26億 567万 353円、
収益的支出27億1,774万6,985円
となり、
当年度純損失は
1億1,207万6,632円、
当年度未処理欠損金は
12億7,643万7,770円
となりました。

議案第69号令和6年度小林市一般会計
補正予算第4号につきましては、
第81回国民スポーツ大会のカヌースプリン

ト競技会場である小野湖の岩山掘削工事等に係る水中測量が完了したことから、工事に要する費用として、歳入歳出それぞれ8,000万円を増額するものであります。

なお、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備事業費につきましては、事業の完了が翌年度にわたることが見込まれることから、繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第70号令和6年度小林市一般会計補正予算第5号につきましては、歳入歳出それぞれ1億8,797万3,000円を増額し、予算規模は319億2,279万4,000円となりま

す。

まず、歳入につきましては、国県支出金、市債等を追加計上いたしました。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、指定金融機関に対し、口座振込等の手数料を支払うための費用等を計上するものであります。

民生費につきましては、指定寄附金を活用して、生活が困窮する子育て世帯等に対し、クリスマスケーキを届けるための費用等を計上するものであります。

衛生費につきましては、コロナワクチンの

定期予防接種に要する費用等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、水田の畑地化に取り組む農業者に対し、土地改良区に支払う決済金を補助するための費用等を計上するものであります。

土木費につきましては、6月の梅雨前線豪雨の影響で市道の補修箇所が増加したこと等に伴い、市道の維持補修に要する費用等を計上するものであります。

教育費につきましては、須木地区体育館等の照明施設をLED照明に改修するための費用等を計上するものであります。

災害復旧費につきましては、5月27日

からの大雨により被災した、公共施設の復旧に要する費用を計上するものであります。

なお、職員人件費につきましては、それぞれの費目で所要額の調整を行うものであります。

また、その他公共施設・公用施設災害復旧事業費につきましては、事業の完了が翌年度にわたることが見込まれることから、繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第71号令和6年度小林市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号につきましては、一般会計と同様に、職員人件費の所要額の調整等を行うものであり、

歳入歳出それぞれ 86 万 9,000 円を増額するものであります。

議案第 72 号令和 6 年度西諸地域介護認定審査事業特別会計補正予算第 1 号につきましては、

口座振込手数料を計上し、
歳入歳出それぞれ 3 万 9,000 円を増額するものであります。

議案第 73 号令和 6 年度小林市介護保険事業特別会計補正予算第 1 号につきましては、
令和 5 年度事業の精算に伴う国県支出金の返還金等を計上し、

歳入歳出それぞれ 8,457 万 6,000 円を増額するものであります。

議案第 74 号令和 6 年度小林市後期高齢者

医療事業特別会計補正予算第2号につきましては、
一般会計と同様に、職員人件費の所要額の調整等を行うものであり、
歳入歳出それぞれ30万1,000円を増額するものであります。

議案第75号令和6年度小林市水道事業会計補正予算第1号につきましては、
収益的支出においては、人件費、通信運搬費等の増に伴う営業費用
306万1,000円を増額し、
資本的支出においては、人件費の減に伴う建設改良費
685万5,000円を減額するものであります。

議案第76号令和6年度小林市下水道事業

会計補正予算第1号につきましては、
収益的収入においては、長期前受金戻入の増
に伴う営業外収益
65万5,000円を、
収益的支出においては、人件費、減価償却費
等の増に伴う営業費用
260万8,000円を増額するものであり
ます。

議案第77号令和6年度小林市農業集落
排水事業会計補正予算第1号につきましては、
収益的支出において、
企業債利息等の増に伴う営業外費用等
37万3,000円を増額するものでありま
す。

議案第78号令和6年度小林市病院事業
会計補正予算第2号につきましては、

収益的支出において、
口座振込手数料として、医業費用
43万4,000円を増額するものであります。

議案第79号小林市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正につきましては、
生活保護法及び児童手当法の一部改正に伴い、
所要の改正を行うものであります。

議案第80号小林市寡婦医療費助成に関する条例の一部改正及び
議案第82号小林市国民健康保険条例の一部改正につきましては、
国民健康保険の被保険者証が廃止されること

に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 8 1 号 小林市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正につきましては、同基準を定める内閣府令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものであります。

諮問第 2 号 人権擁護委員の候補者の推薦につきましては、
佐藤 宗一氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、議会の意見を求めるものであります。

なお、議案第 6 9 号につきましては、小野湖特設カヌー競技場の整備を早急に進める必要があることから、本日、一審議で

の議決につきましてお願いを申し上げます。

以上、よろしくご審議のほどお願いを
いたします。